



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 日本電子株式会社

上場取引所 東

コード番号 6951

URL <http://www.ieol.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 栗原 権右衛門

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略室長

(氏名) 大井 泉

TEL 042(543)1111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	59,646	14.0	△572	—	△2,756	—	△1,642	—
25年3月期第3四半期	52,334	1.6	△1,577	—	△1,934	—	△2,766	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 942百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △2,828百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△22.74	—
25年3月期第3四半期	△36.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	106,705	19,198	18.0	219.37
25年3月期	98,533	19,830	20.1	213.58

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 19,198百万円 25年3月期 19,830百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページの「(参考)種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	25.6	5,500	85.4	3,500	83.3	4,500	181.5	57.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) (株)JEOL RESONANCE、除外 1社 (社名) (株)JEOL RESONANCE  
当社は、平成25年12月25日に(株)JEOL RESONANCE株式を取得したことにより、(株)JEOL RESONANCEは当社の特定子会社になりました。また、同日(株)JEOL RESONANCEは減資を行ったため、特定子会社に該当しないこととなりました。  
なお、(株)JEOL RESONANCEは、株式を追加取得し持分法適用会社から子会社となったことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	79,365,600 株	25年3月期	79,365,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,077,748 株	25年3月期	1,076,668 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	78,288,234 株	25年3月期3Q	78,289,916 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において、終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

**種類株式の配当の状況**

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第1種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	36,712.30	36,712.30
26年3月期	—	25,000.00	—		
26年3月期(予想)				25,000.00	50,000.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済状況は、新興国経済の減速等は継続しているものの、金融緩和政策等による円高の是正や株価の上昇等、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Dynamic Vision」（平成25年度～平成27年度）に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上及び経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は59,646百万円（前年同期比14.0%増）となりました。損益面においては、営業損失572百万円（前年同期は営業損失1,577百万円）、経常損失が2,756百万円（前年同期は経常損失1,934百万円）、四半期純損失が1,642百万円（前年同期は四半期純損失2,766百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡への引合いは引き続き好調であり、材料・医学・生物分野における開発研究から品質管理等の幅広い分野からの要求に応えました。特にハイエンド透過電子顕微鏡の需要は旺盛で市場での高い評価が受注・売上に寄与しました。

この結果、当事業の売上高は41,814百万円（前年同期比 15.8%増）となりました。

#### ② 産業機器事業

電子ビーム描画装置の受注・売上は堅調に推移しましたが、電子ビーム蒸着用電子銃・電源の売上は減少しました。

この結果、当事業の売上高は5,407百万円（前年同期比 10.8%増）となりました。

#### ③ 医用機器事業

国内及び海外（主にOEM供給先であるシーメンス向け）の売上は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は12,424百万円（前年同期比 9.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から8,172百万円増加し106,705百万円となりました。主なものとしては、受取手形及び売掛金が4,734百万円減少し、たな卸資産が6,409百万円増加及びのれんが3,698百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から8,803百万円増加し87,506百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加6,282百万円によるものであります。

一方、当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、資本剰余金及び利益剰余金の減少に伴い19,198百万円となりました。以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から2.1%減少し18.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年12月25日に㈱JEOL RESONANCE株式を取得したことにより、㈱JEOL RESONANCEは当社の特定子会社となりました。また、同日㈱JEOL RESONANCEは減資を行ったため、特定子会社に該当しないこととなりました。

なお、㈱JEOL RESONANCEは、株式を追加取得し持分法適用会社から子会社となったことにより、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,643	8,306
受取手形及び売掛金	24,609	19,874
商品及び製品	14,147	16,128
仕掛品	22,007	26,610
原材料及び貯蔵品	2,321	2,146
その他	5,111	4,618
貸倒引当金	△152	△147
流動資産合計	73,687	77,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,754	5,643
機械装置及び運搬具（純額）	576	677
工具、器具及び備品（純額）	2,097	1,922
土地	1,743	1,864
リース資産（純額）	1,327	1,186
建設仮勘定	486	1,058
有形固定資産合計	11,987	12,351
無形固定資産		
のれん	—	3,698
その他	1,552	1,281
無形固定資産合計	1,552	4,980
投資その他の資産		
投資有価証券	7,534	8,305
その他	3,745	3,536
貸倒引当金	△36	△43
投資その他の資産合計	11,243	11,798
固定資産合計	24,782	29,130
繰延資産	63	37
資産合計	98,533	106,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,543	17,069
短期借入金	27,655	27,931
1年内償還予定の社債	1,565	1,210
未払法人税等	417	468
賞与引当金	626	507
その他	16,293	17,115
流動負債合計	62,101	64,303
固定負債		
社債	1,720	1,190
長期借入金	5,917	12,199
退職給付引当金	6,960	8,071
役員退職慰労引当金	210	199
資産除去債務	143	148
その他	1,649	1,395
固定負債合計	16,601	23,203
負債合計	78,702	87,506
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,740	6,740
資本剰余金	9,346	8,284
利益剰余金	5,545	3,390
自己株式	△533	△533
株主資本合計	21,099	17,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,290	2,330
繰延ヘッジ損益	△710	△238
為替換算調整勘定	△1,848	△774
その他の包括利益累計額合計	△1,268	1,317
純資産合計	19,830	19,198
負債純資産合計	98,533	106,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	52,334	59,646
売上原価	36,186	40,183
売上総利益	16,147	19,462
販売費及び一般管理費		
研究開発費	3,372	3,363
その他	14,352	16,671
販売費及び一般管理費合計	17,725	20,034
営業損失 (△)	△1,577	△572
営業外収益		
受取利息	19	32
受取配当金	56	66
受取保険金	121	80
受託研究収入	2	8
貸倒引当金戻入額	4	12
為替差益	125	—
その他	187	151
営業外収益合計	517	352
営業外費用		
支払利息	414	420
売上債権売却損	152	146
持分法による投資損失	57	20
為替差損	—	1,755
その他	249	192
営業外費用合計	873	2,536
経常損失 (△)	△1,934	△2,756
特別利益		
固定資産売却益	0	5
段階取得に係る差益	—	1,863
その他	0	2
特別利益合計	0	1,871
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	18	16
投資有価証券評価損	91	6
関係会社株式売却損	117	—
その他	2	—
特別損失合計	229	30
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,163	△915
法人税、住民税及び事業税	345	654
法人税等調整額	401	72
法人税等合計	747	727
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,910	△1,642
少数株主損失 (△)	△143	—
四半期純損失 (△)	△2,766	△1,642



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,910	△1,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279	1,039
繰延ヘッジ損益	△477	472
為替換算調整勘定	223	812
持分法適用会社に対する持分相当額	57	260
その他の包括利益合計	82	2,585
四半期包括利益	△2,828	942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,684	942
少数株主に係る四半期包括利益	△143	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月12日開催の取締役会において、第1種優先株式の一部を取得すること、及び取得した第1種優先株式の全部につき消却を行うことを決議いたしました。

上記決議に基づき、当社は平成25年6月27日付で第1種優先株式の一部を取得し、これを全部消却しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,061百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が8,284百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,095	4,878	11,360	52,334	—	52,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	36,095	4,878	11,360	52,334	—	52,334
セグメント利益又は損失 (△)	673	△969	1,089	792	△2,370	△1,577

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,370百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,370百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,814	5,407	12,424	59,646	—	59,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	41,814	5,407	12,424	59,646	—	59,646
セグメント利益又は損失 (△)	1,037	27	877	1,942	△2,514	△572

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,514百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,514百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「理科学・計測機器事業」セグメントにおいて、当社の持分法適用関連会社である株式会社 JEOL RESONANCEの株式を追加取得した際、のれんを計上しております。なお、当該のれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間内において3,698百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。